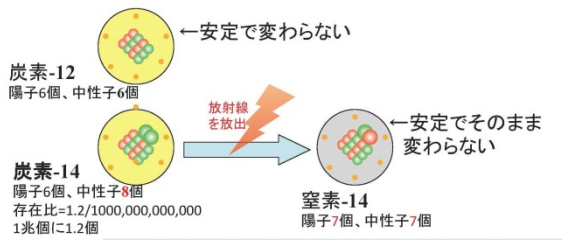
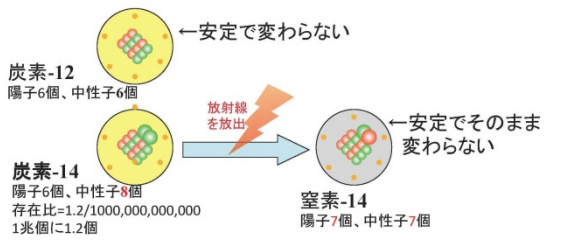


放射線に関するテキスト【中級編】正誤表

(平成 27 年 7 月 7 日現在)

| 頁 | 位置 | (誤) | (正) |
|----|----------|---|--|
| 6 | 3 行目の下の図 |  <p>不安定→自然に陽子が中性子に変わる→窒素になる 同時に放射線が出る</p> <p>炭素1000kg中に炭素14は0.0012mg 埋めて... 5730年 半減期 炭素1000kg中に炭素14は0.0006mg</p> <p>不安定→自然に陽子が中性子に変わる→</p> |  <p>不安定→自然に中性子が陽子に変わる→窒素になる 同時に放射線が出る</p> <p>炭素1000kg中に炭素14は0.0012mg 埋めて... 5730年 半減期 炭素1000kg中に炭素14は0.0006mg</p> <p>不安定→自然に中性子が陽子に変わる→</p> |
| 35 | 10 行目 | 呼ばれる電極にぶつかることで、最終的百万倍程度に増幅し陽極に集められる (図 9)。 | 呼ばれる電極にぶつかることで、最終的百万倍程度に増幅し陽極に集められる (図 8)。 |
| 36 | 図 9 | 体内測定 (体内残留放射能) | 体外測定 (体内残留放射能) |
| 36 | 図 9 | 食品・飲料水中の放射線 ^線 の測定 | 食品・飲料水中の放射 ^{性物質(放射能)} の測定 |
| 47 | | § 3 放射線による生体へ作用 | § 3 放射線による生体への作用 |
| 51 | トリウム系列の図 | ^{232}Th (1.40×10 ¹⁰ 年) | ^{232}Th (1.40×10 ¹⁰ 年) |

| | | | |
|----|-------|---|---|
| 59 | 下から9行 | 2 組織や臓器が浴びた線量が、 | 2 組織や臓器の浴びた線量が、 |
| 84 | ☒ | <p>細胞1つに2mの長さのDNA</p> <p>通常1日~100万ヶ所の損傷発生</p> <p>正常細胞</p> <p>DNA損傷</p> <p>修復</p> <p>修復に成功</p> <p>正常細胞</p> <p>修復に失敗</p> <p>細胞死/アポトーシス</p> <p>確定的影響</p> <p>突然異変</p> <p>細胞のがん化</p> <p>確率的影響</p> <p>腫瘍促進要因 ・化学物質 ・内因(遺伝的傾向)</p> <p>放射線・ 遺伝毒物</p> <p>損傷の増加</p> <p>(極めてわずか)</p> <p>突然異変</p> <p>NIRS</p> | <p>細胞1つに2mの長さのDNA</p> <p>通常1日~100万ヶ所の損傷発生</p> <p>正常細胞</p> <p>DNA損傷</p> <p>修復</p> <p>修復に成功</p> <p>正常細胞</p> <p>修復に失敗</p> <p>細胞死/アポトーシス</p> <p>確定的影響</p> <p>突然変異</p> <p>細胞のがん化</p> <p>確率的影響</p> <p>腫瘍促進要因 ・化学物質 ・内因(遺伝的傾向)</p> <p>放射線・ 遺伝毒物</p> <p>損傷の増加</p> <p>(極めてわずか)</p> <p>突然変異</p> <p>NIRS</p> |
| 88 | 3行目 | るアンチテーゼであり、低線量放射線の場合、健康与える良い影響とされる仮説であ | るアンチテーゼであり、低線量放射線の場合、健康に与える良い影響とされる仮説であ |